

教科	科 目	単位数	学年・クラス
芸術	美術Ⅱ	2	3年2組

1 使用教材

使用教科書	美術2
出版社	光村図書
副教材等	-
出版社	-

2 学習の目標

- 幅広い芸術活動を通して、個性豊かな能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
- 美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てる。
- 友達の作品のよさや美しさを味わい、お互いを認め、尊重し合う。

3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて表現方法を工夫し、創造的に表そうとしている。
② 思考・判断・表現	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や美しさなどから主観を生成し、創造的な表現の構想を練ったり、価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしようとしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	美術の創造的活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。また、美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わおうとしている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
学習状況の観察	B	B	A	発言・作品提出締め切り厳守・制作進度・計画性
スケッチブック 成果物	A	A	B	内容・習作や完成作品・目標達成度
ワークシート	A	A	B	ユーモアや発想などの思考

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	「人を、社会を変えていく」 ・オリエンテーション 「鉛筆で描く」 「素材と向き合う」	・「高校美術」を学ぶ意義について、今までの学びを生かしながら自分なりの考えを持つ。 ・鉛筆の種類や特徴を理解し、デッサン用の鉛筆を準備する。 ・ものの形や光の当たり方などに注目し、静物をよく観察して描いている。 ・タッチを変えることで異なる質感が表現できることを理解し、表現を工夫する。 ・各々が身に付けたい技能に応じ、テーマを設定し、制作を行う。 ・造形的な良さや美しさを感じ取り、作者の意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。
2 学期	「素材と向き合う②」 ・夏季課題の振り返り 「オリジナルピクトグラム」 ○問題解決のためのデザイン 「絵に隠された謎を読み解く」	・各々が身に付けたい技能に応じ、テーマを設定し、実際の受験形態とできるだけ同じ状態で実施する。 ・造形的な良さや美しさを感じ取り、作者の意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 ・社会で起きているさまざまな問題に目を向け、色や形、材料を工夫して解決のためのデザインを考える。 ・暮らしや社会をよりよくするためにできることを考えたり話し合ったりしてオリジナルのピクトグラムをデザインする。 ・時代ごとの表現技法や作品の特徴とその変遷について学び、理解を深める。 ・美術史を学び、より広い視点で作品を鑑賞する。
3 学期	「人を、社会を変えていく～まとめ～」 ・一年間の振り返り	・各々の進路実現に向け、ポートフォリオを作成する。 ・これまでの学習を自分なりに振り返り、一年間で高校美術に対する考えがどのように変化したのか考察する。